

高度環境政策・技術マネジメント 人材養成ユニット (SEMSaT)

Graduate Course in Strategic Environmental Management and Sustainable Technology Solutions

教授 石田 秀輝
Professor
Emile H. Ishida



SEMSaT (Graduate Course in Strategic Environmental Management and Sustainable Technology Solutions) is a course for Masters Degree and Doctoral Degree that started in October, 2005 aims at fostering generalists who can manage the environmental strategies and policymaking at private sectors and administrations. (Adopted as five years project by the JST in 2005) Up to now, 27 master course students and 2 doctoral course students have completed their studies. At present, there are 39 working students in Masters Degree Course and 4 in Doctoral Course have been expected to complete by 2010. And PO (Program Officer) acknowledgment was given to five students who particularly had higher level of practical ability.

The graduate is taking an active part in various areas of the enterprise and the administrative body. This course is expected to get A evaluation in the JST interim evaluation, to advance the improvement of the program afterwards, and to achieve the end goal. It is decided to continue this course based on the necessity of environmental talent though this course is a program of five-year plan, and it ends once in March, 2010. It wants to train the practical type environmental management talent immediately chiefly continuously for the member of society, and to contribute aiming at the achievement of the sustainable society.

概要

本ユニットは平成17年10月より開講した経営戦略の策定、環境政策・施策の立案を行うスキルを有し、鳥瞰的な視野で指導的な役割を果たす即実践型環境マネジメント人材の養成を目的とした、修士課程及び博士課程のコースである(平成17年度採択科学技術振興調整費新興分野人材養成プログラム)。

これまでに修士課程27名修了し、博士課程2名修了し、5年間で修士課程合計39名、博士課程合計4名修了する見込みである。また、環境PO (Program Officer)として、これまでに5名認定した。修了生は、企業及び行政機関の様々な領域において活躍している。本ユニットはJST中間評価でA評価を頂き、その後、プログラムの改善を進め、最終目標を達成する見込みである。本ユニットは5年計画のプログラムであり、一旦、平成22年3月に終了するが、環境人材の必要性を踏まえ、本研究科において本人材養成を継続することが決まっている。引き続き、主に社会人を対象に即実践型環境マネジメント人材の養成を行い、持続可能な社会の実現に向けて貢献したい。



2nd SEMSaT short course

教育方法

本ユニットではeラーニングと年間5回程度(10日間)の集中講義により時間的、空間的制約を排除した上で必要な知識を習得し、OJT (オン・ザ・ジョブ・トレーニング)/VPP (バーチャル・パイロット・プロジェクト) トレーニングにより実践的ソリューション提案スキルを磨いている。VPPのアドバイザーとして、大学内の教員だけでなく、社会人の修了生を含め、効果的な指導体制を整備している。本ユニットのHP (www.semsat.jp) を改築し、学生が過去のOJT及びVPPレポート等の環境に関する資料を検索できるようにデータベースを構築した。5年間の知識の集積を活用できる体制を整えた。

また本年度より3年間の予定で、環境省『環境人材育成のための大学教育プログラム開発』を受託し、学外有識者を委員に迎え、より効果的なカリキュラム醸成の検討を開始した。

これらの教育経験をもとに、環境省人材育成コンソーシアム準備委員会では、委員(座長およびワーキング委員)として、「攻めの環境経営のためのグリーンMBA/MOT等構築事業」にも参画している。



Group photo with Prof. Ezio Manzini, Eco-design



准教授
古川 柳蔵
Associate Professor
Ryuzo Furukawa



研究員
水野 晃子
Researcher
Akiko Mizuno



研究員
武井 さつき
Researcher
Satsuki Takei



Research in India



Auroville in India



6th SEMSaT seminar

カリキュラム改善

平成21年11月～12月にかけて、本ユニットのカリキュラム検討及び教材開発、インドにおける大学連携の可能性の検討のためにインド・バンガロール、チェンナイを視察した。特に、インド国内の開発の現状、環境問題の現状を直接把握し、本ユニットの講師の候補あるいは教材で利用するケースを探索するために、インド全体及び国際的に活動拠点を有するCSM、サステナビリティのための技術開発を実施するTERI、インドにおける環境ビジネスを推進し、学界とのコネクションが強い社会起業組織のSAHYOG、及び先進的でサステナビリティを目指したコミュニティであるAurovilleを訪問し、アジアを基盤とした環境人材育成および環境施策に関し、新規なネットワークを創出できた。

広報・情報収集活動

第6回SEMSaTセミナーとして、セミナー会場である求道会館、そして求道学舎のリノベーション(再生)を手掛けた、一級

建築士の近角真一氏を迎えて、住まい・ライフスタイルをテーマに開催した。また、第7回SEMSaTセミナーとして、京都と銀座で、日本の伝統的な生活様式を体感できるお宿「吉水」の女将である中川誼美氏を迎え、日本古来の生活文化から心地よさや快適性を再考し、これからのテクノロジーに必要な精神性や日本ならではのサステナビリティについて対談を行った。

社会貢献

2009年2月17日に本ユニットの修了生を主体として、NPO法人サステナブル・ソリューションズ〜小さな渦を育てる杜〜が設立された。本NPOは、本ユニットのVPPの成果の実践の場として、また、社会に対して提言する組織として活動を開始した。隔週の早朝勉強会を継続実施し、2030年ライフスタイル研究及び生物多様性調査研究を実施、成果をエコプロダクツ東北へ出展した。また、日本型の生活文化を残しながらも急速な環境劣化を迎えつつある沖永良部島で3日間に亘るシンポジウムを開催し、生活と産業のかかりについて意見交換を行った。東北大学ホームカミングデーでは「社会に求められる環境リーダー」と題する講演会を開催した。



Okinoerabu symposium



Okinoerabu symposium panel discussion

Activities in 2009

- 6th SEMSaT Seminar, Kyudo Kaikan, March 26th, 2009
- 7th SEMSaT Seminar, Kyudo Kaikan, July 14th, 2009
- Okinoerabu Symposium, Floral Hotel, Aug 3rd, 2009
- 1st SEMSaT Short course, Nov 24th, Tohoku Univ Tokyo office, 2009
- 2nd SEMSaT Short course, Dec 14th, Tohoku Univ Tokyo office, 2009